

1. 背景とポイント

- ・東京 EEC では総会を隔年開催しているが、新型コロナのため 5 年間対面開催できなかった。前回の総会は久しぶりの対面開催で非常に有意義だった一方、参加者の高齢化や減少が大きな課題だった。
- ・今回の第 24 回総会では大学と同窓会、そして会員どうしのより深い「対面交流」とする場を計画し、電気電子の若手の先生によるご講演と交流に加え、若手への呼びかけやネットによる情報共有を通じた会員の結びつきの強化策を工夫した。
- ・従来の E-mail による案内だけでなく、関東在住の潜在的な会員にも「はがき」や「HP」などを活用して積極的に案内を行い、延 377 名に案内した。

2. 総会・講演会の概要

- ・日 時：2025 年 10 月 25 日(土) 13:00～16:00 (総会・講演会・懇親会を含む)
- ・会 場：JR 四ッ谷駅前 主婦会館プラザエフ → 東京 EEC は初利用
- ・講演会テーマ：超高压の力でひらく電気電子材料の研究
- ・講演会講師：室蘭工業大学 電気電子工学ユニット 准教授 武田圭生 氏

3. 総会の雰囲気と参加者の感想

- ・総会議事は議案 6 件ともご承認をいただき、計画に沿って東京 EEC の活性化をすすめます。
- ・武田先生によるご講演は、普段見聞きすることの少ない「超高压力の世界」について、例え話に加え、室蘭からご持参の「実験装置」で「高圧力下の氷」を実際を作る実験を行っていただき、参加者からは「非常に興味深く、印象的で分かりやすい」、との評価をいただいた。
- ・ご来賓の井上満様、水澤健裕様からは、私たちが普段接する機会の少ない他の支部活動のご紹介があり、ある意味「異文化交流」となって、参加者にも刺激となった。
- ・懇親会では、佐藤鸞峯様からご趣味の「水墨画」のご紹介があり、すばらしい絵画を鑑賞させていただきだけでなく、描き方などの解説もあり、参加者から驚きの声があがった。
- ・写真

(1) ご講演の様子



(2) 水墨画のご紹介



(3) 懇親会、乾杯！



4. 参加人数

- ・ 対面出席(来賓含):25 名、欠席(E-mail で情報共有):36 名、合計:61 名
大勢の現地ご参加とご協力をいただき、感謝いたします。

5. 反省と今後の課題

- ・ これまで東京 EEC が会合や総会の会場として利用していた東京駅最寄りのリコッタ(旧ポールスター)が閉店となり、第 24 回総会は新たな会場探しからスタートした。開催 1 年前の時点で、武田先生にはご講演のご了解をいただいたものの、会場や参加予測人数も決まらず苦慮した。
- ・ そのような状況下で、関東支部の土木サブ支部や関東蘭岳会サブ支部、そして東京 EEC の先輩の方々からのアドバイスを受け、なんとか開催準備が進んだ。これも武田先生はじめご来賓、EEC 会員の方々、支部間の連携のおかげと大変感謝しております。
- ・ 総会や懇親会では「質疑」や「一人ひとりの発言」に重点を置いた運営が良かった反面、会場の利用時間の制限で、ご歓談の時間が不足したことをお詫び申し上げます。
- ・ 最大の課題は若手への案内と若手が気軽に参加できる活動であり、中長期の活動を視野に入れて、若手がメリットを感じるような同窓会を目指したいと考えている。

6. 記念写真



7. ご依頼と東京 EEC の連絡窓口

①ご依頼事項

- ・ 関東地区に在住または勤務している、電気・電子・情報系の卒業生の方々とは、同窓で学んだ仲間としてつながりを深めたいと存じます。当方から東京 EEC 総会などのご案内が届かない方は、下記の連絡窓口にご一報いただければありがたいです。

②東京 EEC の連絡窓口

- ・ 同窓会ホームページ～支部概要、およびモ・ルラン誌の東京 EEC 広告に掲載中の E-mail アドレス
- ・ または、右記 QR コード(Google フォーム)でも連絡をお受けします



以 上

東京 E E C 会長 小助川 淳一 (昭 50 年電子工学科卒)